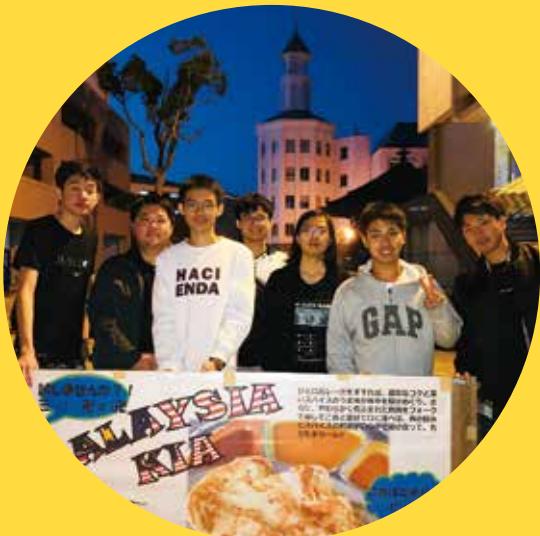


福井県 留学生 だより 2020

福井県留学生交流推進協議会



巻頭言 1

「COVID-19 下の留学を想う」

福井県留学生交流推進協議会会長 福井大学長 上田 孝典

留学生の声 2

「充実している留学時代」 福井県立大学大学院 NGUYEN HOANG KHANH (ベトナム)

「いきなり福井に舞い降りた！！」 福井ペット&旅行ホテル専門学校 BHANDARI RAJU (ネパール)

交流活動 4

装道礼法きもの学院公認きもの教室 講師 吉川 晴美

福井県産業労働部国際経済課国際交流グループ

活動スナップ

地域交流状況

寄稿 9

「日本と母国の架け橋となることを願って」

公益財団法人江守アジア留学生育英会 代表理事 日華化学株式会社 代表取締役社長 江守 康昌

留学生交流推進協議会 10

福井県留学生交流推進協議会の活動

福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

留学生関係資料 12

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

COVID-19 下の留学を想う

福井県留学生交流推進協議会会長

福井大学長 上田 孝典



福井県へ御来福の外国人留学生の皆さん、またそれを受入れ支援いただく皆様にとって、今年は大変な一年だったと思います。

本協議会運営委員会も第一回はメール開催にて実施し、今後も当分の間オンライン開催が予定されています。本協議会では、県内高等教育機関及び国際交流団体等における留学生の地域交流調査を行っていますが、今年度はどこも活動ができていない期間がほとんどであり、参加者数の減少が不可避の状況です。

福井大学を例に、コロナ関連の状況をいくつかご紹介いたします。本学では、2019年5月時点の留学生数228名が、2020年5月時点で174名と減少しており、更に現在も減少しています。また、入試を経て入学する正規留学生、国費留学生は受入れ決定したものの、前期は入国が叶わず、また交換留学生の受入れは中止となりました。一方で、在留中の留学生は、一時帰国が叶わず、これはこれで大きなストレスを抱えることとなりました。心理面に対処すべく英語で対応できるカウンセラーの需要が増してきたため、増員を予定中です。

コロナ感染症期の講義については、全学的に原則オンライン講義で、5月の連休明けにスタートしました。学生にとっては、特にオンデマンド講義が、時間を自由に使える、繰り返し学べる、質問をしやすいなどで意外に好評で、メリットも見えてきました。しかし、在留時間の限られた留学生の皆さんには、対面講義では可能な、直接の、他の留学生や日本人との交流が制限され大変残念だったろうと思います。私も30年以上前ですが、約2年間米国ノースカロライナ州立大学チャペルヒル校に家族も一緒に留学していました。研究の方は教室のボス並びにサポートしてもらったテクニシャンの女性との対話以外は、一心不乱（？）にベンチ（実験机）で研究に集中し何とか論文をまとめることができました。しかし、留学のもう1つの重要な目的は、母国以外の地で、異国の自然に触れ、またその地で生活し、そこに暮らす人々と交流することだと思われ、今年、その期間が短縮されたことは誠に残念に思います。

本県については、先述したように年々増加傾向であった県内高等教育機関及び国際交流団体等における留学生の地域交流も、本協議会の今年度の調査（2019年10月～2020年9月）によると、前年度と比較して約20件減少しており、コロナ収束後の順調な回復を期待したいところです。福井県は、留学生の送出し、受入れに力を入れています。例えば、高校レベルの海外派遣では、

平成27年度は人口あたりで我が国第一位の成果を上げています。一方、留学生の受入れでは、2017年度で30位前後であり、まだまだ努力すれば受入れる潜在力はあるものと思われます。留学生という若い人達と地元の人々との交流が増加すれば、福井県を訪れる外国人旅行者全国41位という若干残念な実績も、次第に向上するものと思います。

全国の状況を見ると、それ以前の留学生獲得競争の出遅れを挽回すべく2008年にスタートした留学生30万人計画は2019年にはほぼ達成したとは言うものの、その中で約9万人は日本語学校の学生であり、眞に高等教育を大学で受けている学生は意外に少ないことが分かります。また、アジアの国々からの受入れが多いことも特色でこの地域差も次第に解消していく必要があります。また、国際交流という面では、海外への日本人留学生の数は現在伸び悩み、日本在住の外国人留学生の数よりも少ないと分かり、この格差を解消し積極的に海外へ出ていく日本人が増えることが望まれ、そのためには来日した留学生との交流も大きな意味を持つと思います。今、日本の特に理工系の大学での大きな問題は博士課程の大学院入学者が少ない傾向です。ここに優秀な留学生を招き入れ課程修了後も我が国に留まり、活躍していただくことが望ましいと思いますが、そのためには我が国に留学生が家族で暮らせる環境を充実させる必要があり、特に日本語教育はこれから定住のために重要であり強化が望まれます。

私は、今この文章を米国の大統領選挙の終了後の若干の混乱を眺めながら記していますが、今世界の国同士の関係は我が国を含め極めて順調とは言えません。この様な中で世界の平和を確保していくためには、人々が国民として動くのではなく1人の人間同士としてお互いに共感を持って触れ合うことが重要です。留学生はまさにそのようなチャンスに恵まれた人々であり、その出会いの触れ合いをぜひ大切にしてほしいと思います。

そんな中、高等教育機関にある我々のレベルで何ができるかを考える必要があります。県内には、6大学、1高専が活動しています。この折角の高等教育機関が各々独立して主体的に活動することは、もちろん重要なことです、それに加えて、その連合体として県の呼びかけで、福井アカデミックアライアンス（FAA）が結成されることもあり、各機関が連携し、情報を共有し、多彩な留学生のニーズに一層応える努力を続け世界の未来に寄与することが必要だと思います。

充実している留学時代

福井県立大学大学院博士前期課程 生物資源学研究科 生物資源学専攻 1年
NGUYEN HOANG KHANH (ベトナム)



僕は、ベトナムにいた高校生の時、自分のうちの経済状況を見て、大学や大学院に入学することはとうてい難しいことだと思っていましたが、今、僕は日本の大学院の1年生をしています。高校を卒業したばかりで日本に留学することは、僕にとって大きなチャレンジでした。このチャレンジはあつという間に今年で6年目になりました。5年間を振り返ってみると、毎日が非常に忙しく、色々なことを勉強できて、自分の成長を感じました。その中で、専門知識の習得、研究の面白さ、人生の貴重な経験、また心の優しい日本人との出会いなど様々なことを経験しました。

福井県立大学に入学してから、在学している先輩に色々お世話になったおかげで、大学の生活に早く慣れました。大学2年生から、手話に興味を持つ僕は手話サークルに入りました。サークルで手話言語を練習し、様々なボランティアに参加できました。特に、一番感動したことは手話で聴覚障害者と話すことで、気持ちを知ることができたことです。福井県立大学では、ワールドカフェという外国人と交流できる場があり、ここで交流するのは楽しく、異文化を受け入れるのも面白いです。2年生の後期から、僕はワールドカフェのスタッフとして働くことになりました。日本留学の経験を日本に来たばかりの留学生に伝えたいし、きれいなベトナムを紹介したいと思いました。また、大学3年生の夏休みには、ずっと憧れていた大学の海外短期留学—LEAPでオーストラリアに留学するという目標を達成しました。この経験は英語を学習するチャンスだけでなく、僕にとって青春と言うべきとても素晴らしい経験でした。手話サークル、ワールドカフェのスタッフ、短期留学など大学で自分の生活が充実できるように、毎日がんばっています。

私にとって辛い経験となったのが、同じく日本留学を志していた仲間が、留学目前にして、父と同じように病で亡くなってしまったことでした。その仲間のためにも、日本で頑張って、少しでも健康を守る仕事をしたいと、より一層強く思うようになりました。それで、大学の研究室を選ぶ時には、幼い頃から関心のあった、医学や薬学に関係のある機能食品研究室に入りました。福井県とベトナムの同じところは、綺麗な海があり、豊かな海産物があるところです。現在、僕は福井県の海藻から取れる、人の身体に良い成分を研究していて、新しい健康効果を見つけたいと考えています。ベトナムで日本に来るチャンスをもらい、福井で夢を見つけ、この夢をベトナムと福井のために職業奉仕として将来実現することが、自分の

責任であると思うようになりました。

大学3年の時、このまま大学院に進学して研究を続けたいという思いもありながら、経済的なこともあります。大学院に進学するか就職するかという自分の進路に迷っていました。ロータリー米山記念奨学金に合格できたという知らせを聞いて、大学院に進学することを決意しました。ロータリー米山記念奨学金をいただけたおかげで、これまでずっと生活と学費のために、アルバイトに費やしていた時間を、自分の研究や勉強などにまわせて、そちらに集中することができました。また、奨学生になってから、素晴らしい方々と出会ったり、県内に貢献できる活動に参加したりする機会が増えました。例えば、僕は福井ロータリーアクトクラブにも入会させていただきました。日本人の先輩方と国際文化交流することだけではなくて、各イベント、ボランティア活動を通じて、自分の力や知識を使って、今住んでいる福井の地域に貢献することもできました。また、福井の歴史や美しさも、よく理解できるようになりました。

今まで5年間、自分の努力と周りの人の助けのおかげで、たくさんの目標を達成したとともに、もちろん失敗したことも少なくありません。自分の学生時代は大変充実していると言えないですが自分がやったことに対して自慢しています。僕はいつも「努力すればできないことはない」と信じているので、どんな困難があっても努力すればきっと乗り越えられると思います。時間が経つのが早いので、日本留学の時代は充実できるかどうか自分次第です。日本に留学している皆さん、日本で一緒に頑張りましょう。



いきなり福井に舞い降りた！！

福井ペット＆旅行ホテル専門学校 総合ビジネス科 旅行総合コース 2年生
BHANDARI RAJU（ネパール）



私は、日本へ来る前ネパールの旅行会社で添乗員をしており、日本へ来てネパールのよいところを日本へ紹介したいという思いから日本への留学を決めました。最初、両親は外国へ行くことを心配し、反対していましたが、私の強い気持ちを知った後は、応援してくれました。今では一番理解し、いつも相談にのってくれています。

最初、私はネパールの日本語学校の先生から留学先は名古屋だと聞いていましたが、到着したら福井でびっくりしました。皆さんは不思議だと思うかもしれません、先生は書類が名古屋入国管理局からきていたので、勘違いしていたようです。都会に住みたかったので、飛行機で名古屋についた後、そこから3時間半も電車に乗り、だんだん田舎になっていき、とても不安だったのを覚えています。しかし、今は心から福井に住めてよかったです。それは福井では外国人が少なく頼る人もいなかったので、何でも自分で日本語を使ってやらなければなりません。しかし、私が出会った福井の人は、とても優しくたくさん助けてくれました。福井でなかつたら今こんなに日本語を上手く話せていなと思います。

福井に来て4年目ですが、一番辛かった事は、初めて旅館で掃除の住み込みのアルバイトをしたことでした。紹介してくれた日本語学校の先生から食事付きと聞いていたのですが、実際に行ったら、白いご飯だけでした。その時は日本に来たばかりだったので、どうやって食べ物を用意したらいいかわかりませんでした。近くにスーパーはありました、ハンズー教で牛肉は食べませんので、食材に牛肉が使われているか心配で買えませんでした。結局、一週間塩をかけて過ごし、本当に辛かったです。

次第に日本語が上達するにつれて生活もしやすくなり、楽しい事がたくさんありました。一乗谷朝倉氏遺跡へ国際交流のボランティアに参加した時、初めて日本の着物をきて万灯夜のお祭りに参加しました。思っていたより着物は着やすくて、かっこよかったです。また、初めて日本の文化的なお祭りを見て、とても感動しました。いつかネパールにも紹介したいと思います。

日本へ来て、たくさん勉強するようになりました。一番勉強したのは旅行の国家試験、旅行業務取扱管理者試験の勉強でした。日本語の漢字の専門用語に苦労しましたが、全てネパール語の意味を下に書いて覚えました。とても時間がかかり、大変でしたが、合格できたことが本当に嬉しくて、頑張ったら、結果に繋がるという自信を持つことが出来ました。

そのおかげで、なんと福井の旅行会社に内定が決まりました。就職活動の中、予想外の新型コロナ感染症の影響で本当

に仕事を探せるか心配でしたが、仕事が決まって本当に幸運でした。

将来は、福井のことを一番に知っているカリスマ添乗員になって第二の故郷大好きな福井の活性化に貢献できたらと思っています。

今は福井に突然舞い降りたこと、福井で勉強出来たこと、福井で出会った人々に心から感謝しています。



全日本きもの装いコンテストに留学生がチャレンジ！！

装道礼法きもの学院公認きもの教室 講師

吉川 晴美

日本の民族衣装であるきもの、衣服としてのデザイン、染織の技術の豊さは世界が認めるところですが、現代において日本ではきものは特別の衣装となってきていることもまた事実だと思います。冠婚葬祭の折に胸をはって着ることのできる民族固有のものがあることは、もちろん誇らしく思います。しかし生活の中でのきもの、きものを着た時の心の豊かさ、華やかさも決して失いたくないと強く思います。

きものは一人では着られないから、と多くの人が言いますが、いいえ、それは違います。

そう思い込んでいるだけなのです。

私達は公益社団法人全日本きものコンサルタント協会の一員として「一人できものを装う運動」を推進しています。その運動の一環として『全日本きもの装いコンテスト』を開催しています。

これは経済産業省・文化庁・外務省・厚生労働省が後援のコンテストです。

もう47回を数えました。毎年4月に東京で世界大会が開催されています。これは美人コンテストではありません。きものを一人で装うコンテストです。

舞台の上にきものを羽織って上がり、きものを着て帯を仕上げるまで、鏡も無い舞台の上で、時間とそのプロセスの美しさを競うコンテストです。

振袖の部・留袖の部・カジュアルの部・子どもの部・外国人の部・学校対抗の部と部門別に行われます。

10年前の事です。そのコンテストの地方大会、北陸・北越大会が福井のフェニックスプラザで開催されることになった時、留学生に外国人の部に出場してもらおうと思ったのがご縁で今も遠い国から福井に来てくれた若いお嬢さん達と共に色々なことに参加し、楽しんでいます。

きものに憧れて、きものを着てみたいという留学生は沢山います。そのきものとはほとんどがゆかたです。

振袖が一人で着られる様になるよと言うと、留学生達は嬉しい!!と目を輝かせます。

日本人の学生に同じ事を言うとウソー!!と言います。

日本の若者は美容室で着せてもらうのが当たり前と思ってしまっている様です。自分の国の民族衣装なのに・・・。

嬉しいと言った留学生達は何もわからないまま、ゆかたから始めます。紐を結ぶことさえ大変な人も多く、悪戦苦闘の連続です。でも先輩の留学生が振袖を着ているのを見て自分もと頑張ります。

そんな留学生だった一人が外国人の部で全国1位に入り、昨年春ワシントンDCの桜まつりに招待されて参加しました。フィリピン人の彼女が日米親善に大いに活躍したのです。

他にもたくさんの事に参加しています。きものを通じて色々な国の若い人達がきものを縁に仲良くなるのを見ることはとても楽しく幸せだと感じています。



2019年5月ワシントンD.C.の桜まつりに招待されて参加しました。

2018年3月福井大学卒業式に自分できものを着て参加しました。



2019年10月全日本きもの装いコンテスト北陸・北越大会が敦賀市民センターで開催され、福井大学の留学生が6名参加しました。学校対抗の部に3名、外国人の部に3名。学校対抗の部では福井大学チーム(3名1チーム)が2位、外国人の部ではグアテマラからの留学生ルチアさんが3位入賞。

それだけではありません。女王は福井大学大学院卒業の島田さん、準女王には今は福井大学教職大学院に籍をおくポーリンさんが輝いたのです。私は生涯のご褒美を一度にもらった気分でした。島田さんは日本のお嬢さんですが、中国からの留学生楊淑嫻さんに連れられて見学に来た学部生でした。そんなご縁で会ってから、大学院を卒業して東京に就職した今も何やかやと楽しいつながりに感謝しています。

2018年から福井大学大学祭にきものサークルとして参加。展示の花結びは皆でワイワイ話しながら笑いながら自分の国の花を結ぼうと頑張りました。誰かさんは遂に高嶺の花になりました。たくさんのひとが来てくださって、その中でも日本人学生が留学生にゆかたを着せてもらっている光景は複雑な気持ちでながめました。



2019年6月ふくい市民国際交流協会主催のグローバルフェスタに参加。色々な国の人たちの前できものの着装を披露しました。イタリアのジョバンナさん、中国の楊慧芳さん、グアテマラのルチアさん、ミャンマーのミンモーさん・フィリピンのポーリンさんとちょうど5ヶ国が参加だったので、それぞれにお国の言葉で挨拶しました。

福井県産業労働部国際経済課国際交流グループ

国際経済課では、幅広い県民の参加による国際交流や国際協力、地域国際化を推進するため、市町や国際交流団体等の関係団体とも連携し、さまざまな施策を実施しています。

● Fukui レポーターズ

県内にお住まいの外国人の皆さんに、「Fukui レポーターズ」として、福井県企業の商品モニターや、県内観光地・イベントの訪問などを行っていただき、その情報を SNS などで広く発信していただいているます。

令和 2 年度は、留学生も含め 26 名のレポーターズが活動していますので、レポーターズ共通のハッシュタグ「#experience_fukui」を、ぜひ検索してみてください。



●ふくい外国人コミュニティリーダー

県内に住む外国人の皆さんの中には、情報が日本語で発信され分かりづらかったり、どこにどのような情報が掲載されているかご存じなかったりする方がいらっしゃいます。

そこで、外国人住民同士のネットワークを活かし、生活・災害情報を SNS 等を通じて母国語で発信したり、日本人住民とのコミュニケーションの橋渡しや、災害時の自助・共助の担い手などとして活動いただく「ふくい外国人コ



ミュニティリーダー」を養成しています。

令和 2 年度は、県内にお住まいの 14 力国 32 名の皆さんをリーダーとして委嘱し、外国人の皆さんのが安心して暮らせる福井県を目指し、一緒に活動しています。



●福井県友好大使

福井県の情報を世界に発信するとともに、海外の情報を積極的に収集するため、国際交流員・外国語指導助手(ALT)・留学生など、福井県に滞在している外国人の皆さんが離県する際に、「福井県友好大使」として委嘱しています。



友好大使には、海外での福井県の PR や、海外情報の紹介、国際交流の仲介など、海外と福井県とのかけ橋として活動していただいているです。

令和 2 年 11 月現在で、28 力国 142 名の方が友好大使になってくださっており、世界中にネットワークが広がっています。

●その他

各種情報は下記をご覧ください。

・福井県産業労働部国際経済課

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kokusai/index.html>



・(公財)福井県国際交流協会

HP : <https://www.f-i-a.or.jp/ja/>

Facebook : <https://m.facebook.com/FUKUIINTERNATIONALASSOCIATION/>



活動スナップ



しゃべり場（ふくい市民国際交流協会）



外国人留学生「いつでも街歩き」in 大野（福井工業大学）



企業見学ツアー（福井県立大学）



第2回みさき祭（福井工業大学）



通訳ボランティア研修会（ふくい市民国際交流協会）



友好大使委嘱式（福井県）



留学生研修旅行（福井工業高等専門学校）



メキシコ文化紹介（インターナショナルさかい）（福井大学）



留学生との懇談会（福井工業高等専門学校）



クリスマス交流会（福井県立大学）



留学生との交歓会（福井大学）



国際交流体験（福井工業大学）



福井国際フェスティバル（福井県国際交流協会）



大学祭（福井工業大学）



大学祭（福井県立大学）

地域交流状況 留学生と地域との交流状況（令和元年10月～令和2年9月）

巻頭言

留学生の声

交流活動

寄稿

推進協議会

留学生関係資料

事業名	主催者等	開催期間	事業名	主催者等	開催期間
日本語常設講座	公益財団法人福井県国際交流協会	令和元年10月～令和2年2月	通訳ボランティア研修会 朝倉氏遺跡案内	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月30日
おしゃっとサロン「パングラデシュ」	公益財団法人福井県国際交流協会	10月6日	おしゃっとサロン「フィリピン」	公益財団法人福井県国際交流協会	12月1日
REINAN国際交流のつどい 2019	公益財団法人福井県国際交流協会	10月6日	外国人留学生のための就活セミナー1	福井県グローバル人材基金	12月6日
今から始める「ハラールビジネス」基礎セミナー（福井大学留学生をオブザーバーとして派遣）	一般社団法人ハラル・ジャパン協会	10月7日	世界文化紹介（メキシコ）	インターナショナルさかい	12月14日
福井県立大学 大学祭	福井県立大学	10月13日	令和元年度外国人留学生との懇談会（鯖江市国際交流協会との交流）	福井工業高等専門学校	12月17日
福井工業大学 大学祭での模擬店出店	福井工業大学	10月13日	世界のクリスマス交流会	福井県立大学（World Café）	12月19日
全日本きもの装いコンテスト（福井大学留学生による参加及び観学）	全日本きもの振興会	10月13日	留学生クリスマスパーティー	福井大学留学生会	12月19日
坂井市・あわら市の魅力を伝える～外国人観光客への情報発信～プレゼン審査	福井県立坂井高等学校	10月25日	外国人留学生のための就活セミナー2	福井県グローバル人材基金	12月20日
外国人留学生「いつでも街歩き」in 大野	大野市役所観光振興室	10月26日	外国人留学生のための就活セミナー3	福井県グローバル人材基金	1月5日
しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	10月26日	外国人留学生のための就活「個別カウンセリング」	福井県グローバル人材基金	1月22日
福井国際フェスティバル 2019	公益財団法人福井県国際交流協会	10月27日	留学生との交歓会	福井大学国際センター	1月23日
福井県・ハールブルク郡およびヴィンцен市友好協定締結20周年記念レセプション	福井県	10月29日	世界のお正月調理交流	福井県立大学（World Café）	1月24日
「国際理解講座」講師派遣	福井県立足羽高等学校	11月8日	しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	1月25日
しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月9日	「ビジネス英語講座」講師派遣	福井商工会議所	1月28日
第2回みさき祭(若狭町みさき漁村体験施設)	西浦地域づくり協議会	11月10日	外国人留学生個別企業訪問	公益財団法人福井県国際交流協会	1月29日
子供英語教室学習発表会	ECCジュニア王子保教室	11月10日	留学生送別会	福井県立大学（World Café）	2月7日
坂井市・あわら市の魅力を伝える～外国人観光客への情報発信～バスツアー	福井県立坂井高等学校	11月10日	パングラデシュの文化紹介（昭和幼稚園）	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	2月8日
おしゃっとサロン「オーストラリア」	公益財団法人福井県国際交流協会	11月17日	外国人留学生のための県内企業見学ツアー	福井県グローバル人材基金	2月14日
福井のこしひかり米づくり「収穫感謝祭」	高須城山・農と人の会	11月17日	おしゃっとサロン「インド」	公益財団法人福井県国際交流協会	2月16日
Halloweenイベント	福井県立大学（World Café）	11月18日	福井で働く卒業留学生と現役留学生との交流会	福井大学国際センター	2月16日
今から始める「ハラールビジネス」基礎セミナー（福井大学留学生をオブザーバーとして派遣）	一般社団法人ハラル・ジャパン協会	11月18日	「ビジネス英語講座」講師派遣	福井商工会議所	2月25日
調理イベント（天谷調理師学校）	福井県立大学（保険管理センター）	11月21日	しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	7月25日
しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月23日	しゃべり場	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	8月8日
外国人留学生「いつでも街歩き」in 大野（モニターツアー）	大野市役所観光振興室	11月23日	リモートBUZZ CAFÉ 2020	公益財団法人福井県国際交流協会	9月10日
留学生帰り観光バスツアー（モニターツアー）	JR西日本	11月23日	おしゃっとサロン「インド」	公益財団法人福井県国際交流協会	9月26日
第25回おらが村でも国際交流	永平寺町吉野公民館	11月23日			

日本と母国の架け橋となることを願って

公益財団法人江守アジア留学生育英会 代表理事
日華化学株式会社 代表取締役社長 江守 康昌



当育英会の創設者である私の父、江守幹男当社前会長は、福井で留学生活を送るある学生に出会い、母国を離れ希望と目的を持ち福井県内の大学に就学するも、本来勉学のために割くべき時間の大半をアルバイト等に費やしているという現状に接しました。特に工学系の学生に至っては、日夜実験の連続でとてもアルバイトをしている時間はなく、苦しい生活を送っているのです。アジアからの留学生は先端的で優れた研究者のもと学びたいとして日本へ留学しています。優秀な頭脳と旺盛な好奇心を持ちながら、経済的事由によって勉学を断念しなければならないということは、アジアでビジネスを展開してきた当社として看過することはできません。そこで、学生たちの勉学上の夢が叶うことを願い、多少なりとも応援したいという思いから、平成6年に「財団法人江守アジア留学生育英会」を設立いたしました。

以来、今まで延べ276名の学生に対して奨学生による支援を行ってまいりましたが、奨学生の出身国も多国化してきています。当初は中国からの留学生が大半を占めていましたが、近年ではベトナム・インドネシア・トルクメニスタン・ウズベキスタンと、様々な国からご縁あってこの福井の地で勉学に励む留学生皆さんに接する機会をいただき、相互の文化交流も広がっています。

当育英会の特長の1つとして、毎月支給する奨学生を当社まで直接取りに来ていただいていることがあります。他の多くの奨学生制度がそうであるように銀行口座への振込にしてもよいのですが、敢えて毎月手渡しをすることで、学生さんたちとface to faceでのコミュニケーションを取ることを大切にしています。

また、経済的支援のみならず、「異文化理解」「国際親善」に努める優秀なグローバル人材の育成を目指して、奨学生同士の交流の場として年数回の交流会を開催しています。先代理事長の江守幹男は、お正月に留学生を自宅に招き、かるたや福笑い、羽根つきなど正月特有のゲームを楽しんだり、一緒にお節料理を食べたりして、日本の文化・習慣を体験していただくことを毎年楽しみにしていました。近年では、社会人になると必ず経験するであろう会食の場面を想定し、実践的なテーブルマナー講座を開催しながら、留学生からの近況報告を受ける会を開催しています。昨年の近況報告会では、留学生によるヴァイオリンの演奏で会場を盛り上げていただき、和やかな雰囲気の中留学生の皆さんから研究の進捗や就職活動の状況などをお聞きし、楽しいひとときを過ごしました。

今年3月、中国武漢に端を発した新型コロナウィルス感染症が同国で鎮静化しつつあった頃、日本では大型クルーズ船内でのクラスターを機に感染が拡大し始めておりました。そのような折、2016～2019年度の当育英会奨学生

有志の18名より、「この奨学生により勉学に集中することができた御礼に日華化学の皆さんに役立てほしい」とマスク1,000枚を贈呈していただきました。国内でもマスク不足が深刻化していた頃、このように奨学生OB・OGの皆さんからお気遣いをいただいたことは、大変嬉しい出来事でした。

当社の創業者である故 江守清喜は、経営者と教育者という両方の顔を持っており、人を生かすということに心を砕いた人物でした。著書に「思うに企業は人であり『人』『物』『金』により成り立っており、この調和こそはじめて企業は繁栄するものであります」が、特にこの中の最も大切なものは『人』であり、『人』によって『金』『物』即ち商品も立派に運用され、『人』によって『信用』も確立するものであります」と書き残し、人材の大切さを説いています。

当育英会では、今後も複雑・多様化する社会の状況や変化に臨機応変に対応できる人材を育成し、アジア諸国との相互協力・相互理解の一助になればと考えております。

それは、日華化学の社名に込めた「日本と中国の架け橋になる」ことを願った我々の理想であり、使命でもあります。

留学生の皆さん的人生はまだまだこれからであり、その可能性は無限に広がっています。近年のグローバル化、ボーダレス化の進化は驚異的であり、わが国においても他国との相互依存の度合いは深さを増すばかりです。この福井で意義ある大学生活を送っていただき、失敗を恐れることなく、自らの夢に果敢に挑戦し、福井そして日本と母国の架け橋となって自分らしく活躍されることを期待しております。



福井県留学生交流推進協議会の活動

令和元年度福井県留学生交流推進協議会定例総会が、会長代行の安田年博福井大学副学長の進行のもと、推進協議会会員の出席を得て、令和元年12月9日（月）、福井大学文京キャンパスアカデミーホール集会室で開催されました。

総会は、会長代行の挨拶の後、会長代行を議長に選出し議事に入りました。主な内容は次のとおりです。

平成30年度活動報告

安田会長代行から次のような活動報告および決算報告が行われました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だより2018の発行

平成31年度／令和元年度活動計画

安田会長代行から次のような活動計画が提案され、いずれも異議なく承認されました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だよりの発行
6. 各種団体行事等の後援

議事終了後、福井県立大学生物資源学部2年ベー ティー ハーさん（ベトナム）と福井大学大学院工学研究科博士前期課程2年グオ ペイチュンさん（中国）による体験発表が行われました。



福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

巻頭言

留学生の声

交流活動

寄稿

推進協議会

留学生関係資料

福井県留学生交流推進協議会会員名簿

令和2年11月現在

順不同：敬称略

機関等名	長又は代表者	氏名
名古屋出入国在留管理局福井出張所	所長	竜田正樹
福井県	知事	杉本達治
福井県教育委員会	教育長	豊北欽一
福井市	市長	東村新一
福井市教育委員会	教育長	吉川雄二
福井県市長会	会長	東村新一
福井県町村会	会長	杉本博文
○ 福井商工会議所	会頭	伊東忠昭
福井経済同友会	代表幹事	江守康昌
福井県経営者協会	会長	前田征利
(公社)日本青年会議所北陸信越地区福井ブロック協議会	会長	澤田涉平
福井県農業協同組合中央会	代表理事長	富田勇一
福井県経済団体連合会	会長	伊東忠昭
公益財団法人 福井県国際交流協会	理事長	山田賢一
NPO 法人福井県日本中国友好協会	会長	酒井哲夫
福井日伊英米交流協会	会長	伊東忠昭
福井県日韓親善協会	会長	伊東忠昭
(一社)福井県医師会	会長	池端幸彦
福井ロータリークラブ	会長	清水則明
ライオンズクラブ国際協会334-D地区	地区ガバナー	岸省三
福井県連合婦人会	会長	田村洋子
福井県連合青年団	団長	岡井里紗
国際ソロプロミスト福井	会長	坪川久美子
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	会長	青池浩生
○ 福井県立大学	学長	進士五十八
福井工業大学	学長	掛下知行
仁愛大学	学長	田代俊孝
仁愛女子短期大学	学長	禿正宣
敦賀市立看護大学	学長	交野好子
福井医療大学	学長	山口明夫
福井工業高等専門学校	校長	田村隆弘
学校法人大原学園福井校	校長	大原陵路
○ 福井大学	学長	上田孝典

○印：会長 ○印：副会長

福井県留学生交流推進協議会 運営委員会委員名簿

順不同：敬称略

機関等名	官職	氏名
福井県	産業労働部 副部長（国際経済）	谷口竜哉
福井市	商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進課 国際室長	馬來田善資
福井商工会議所	地域事業・観光振興課長	小谷孝一
公益財団法人福井県国際交流協会	専務理事	国久敏弘
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	事務局長	穴吹憲男
※ 福井県立大学	教育・学生支援部 国際・留学支援課長	山岸彰子
福井工業大学	国際交流課長	中谷篤
仁愛大学	学生支援センター 次長	出村友寛
仁愛女子短期大学	総合学務センター 学び支援課長	山田浩隆
敦賀市立看護大学	教務学生課長	村上みち子
福井医療大学	事務課事務室長	岩永和也
※ 福井工業高等専門学校	学生課長	出口雅弘
学校法人大原学園福井校	副校長	小倉豪円
○ 福井大学	理事（教育、評価担当）/副学長	安田年博
	副学長（国際）	明石行生
	国際センター副センター長	虎尾憲史
	学務部長	坂井博昭

○印：委員長

※印：監事

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

令和2年10月1日現在

1. 経費別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井 医療大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計
国費	19								3				22
マレーシア 政府派遣	25								3				28
その他 政府派遣	9								3				12
国際協力機構 (JICA)	0												0
私費	84	18	102							8		3	215
内 (交換留学生)	(0)	(0)	(0)							(0)		(0)	(0)
合計	137	18	102	0	0	0	0	9	0	8	0	3	277

2. 国別留学生数

機関名 国名	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井 医療大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計
ネパール			1 (0)							4 (1)		1 (1)	6 (2)
バングラデシュ	4 (0)		1 (0)						1 (0)				6 (0)
ミャンマー	1 (0)		2 (2)										3 (2)
タイ	3 (1)		7 (3)										10 (4)
マレーシア	39 (19)		12 (2)						3 (1)				54 (22)
インドネシア	4 (2)	1 (0)	3 (2)										8 (4)
フィリピン	2 (1)												2 (1)
韓国	4 (0)		1 (0)										5 (0)
モンゴル	2 (1)		3 (1)						5 (2)				10 (4)
ベトナム	1 (1)	11 (6)	34 (14)							1 (1)		2 (2)	49 (24)
中国	58 (21)	6 (5)	36 (6)							3 (1)			103 (33)
カンボジア	7 (2)												7 (2)
台湾	3 (2)		1 (0)										4 (2)
エジプト	1 (1)												1 (1)
コンゴ民主共和国	1 (0)												1 (0)
カメルーン	1 (0)												1 (0)
メキシコ	1 (1)												1 (1)
グアテマラ	1 (1)												1 (1)
フランス	1 (0)												1 (0)
ポーランド	1 (1)												1 (1)
ウズベキスタン	1 (0)		1 (0)										2 (0)
トルクメニスタン	1 (0)												1 (0)
合計	137 (54)	18 (11)	102 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (3)	0 (0)	8 (3)	0 (0)	3 (3) (104)

() 内の数字は、女子数で内数

3. 住居形態別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井 医療大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計	
大学留学生会館等	10 (5)												10 (5)	
学生寮	18 (8)			2 (0)					9 (3)				29 (11)	
大学等借上宿舎		1 (1)											1 (1)	
公営住宅	1 (0)												1 (0)	
民間企業の留学生寮													0 (0)	
アパート・マンション	87 (37)	17 (10)	93 (28)							8 (3)		1 (1)	206 (79)	
借家	2 (1)		5 (1)										7 (2)	
下宿													0 (0)	
その他	19 (3)		2 (1)									2 (2)	23 (6)	
合計	137 (54)	18 (11)	102 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (3)	0 (0)	8 (3)	0 (0)	3 (3)	277 (104)

※渡日遅れにより住居形態が未定の留学生を含む。

() 内の数字は、女子数で内数

4. 国別・経費別・在籍別留学生数

区分 国名	国費留学生						外国政府派遣留学生				私費留学生				JICA	合計		
	学部	修士	博士	専門職	研究生	招請留学生	学部	修士	博士	研究生	学部	修士	博士	特別需要留学生 研究生	特別需要留学生 科目等選択生	専門課程	修士	
ネパール											1					5	6	
パングラデシュ	1		3		1						1						6	
ミャンマー		1									1	1					3	
タイ			1								6	1	1	1			10	
マレーシア				2		36					14	2					54	
インドネシア		1									3	3	1				8	
フィリピン			1	1													2	
韓国											5						5	
モンゴル	2					3		1			2	1	1				10	
ベトナム											43	3				3	49	
中国	1										46	34	15	3	1	3	103	
カンボジア	2			1							1	3					7	
台湾											1	2	1				4	
エジプト												1					1	
コンゴ民主共和国											1						1	
カメルーン		1															1	
メキシコ					1												1	
グアテマラ				1													1	
フランス												1					1	
ポーランド					1												1	
ウズベキスタン											1	1					2	
トルクメニスタン											1						1	
合計	6	3	5	1	5	2	39	0	1	0	127	51	21	4	1	11	0	277
				22				40						215		0		

5. 外国人留学生の奨学金受給状況（令和2年度）

国名 奨学金等名称	ネパール	ミャンマー	マレーシア	インドネシア	ベトナム	中国	カンボジア	台湾	エジプト	トルクメニスタン	モンゴル	ウズベキスタン	コンゴ民主共和国	合計	
(一財) あしなが育英会														1	1
(公財) 上原記念生命科学財団 来日研究生助成金															1
(公財) SGH 財団			1												1
(公財) 江守アジア留学生育英会 外国人私費留学生奨学金				1	2	5	1			1		1			11
(公財) 日揮・実吉奨学会						1									1
(公財) 日本国際教育支援協会 三菱ペトナム原子力奨学金					1										1
(公財) 日本台灣交流協会								1							1
(公財) ヒロセ国際奨学財団						1									1
(公財) 藤井国際奨学財団						1									1
(公財) 平和中島財団奨学金											1				1
(公財) 前田工織財団					1										1
(公財) 三谷育英会 外国人留学生奨学金		1				1			1						3
(公財) 安田奨学財団						1	1								2
(公財) ロータリー米山記念奨学会 ロータリー米山記念奨学金	1	1	1		1	3									7
(独) 日本学生支援機構 文部科学省私費外国人留学生学習奨励費				1	1	1	6		1						10
(独) 日本学生支援機構 海外留学支援制度（協定受入）奨学金 ※短期留学生対象															0
合計	1	1	4	2	7	19	1	3	1	1	1	1	1		43

編集・発行
福井県留学生交流推進協議会事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
TEL 0776-27-8439 FAX 0776-27-9715
(福井大学学務部国際課内)
発行:令和2年12月